

第229回研究科委員会・第335回教員会議 議事要録

日時：令和4年3月9日（水） 13：30～15：40

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 博士論文学位審査について（投票）

回収資料に基づき、博士後期課程に所属する大学院生2名に対する学位審査を行なった。

1名に対する審査では、主査である教授より研究の概要が紹介され、紀要の扱いについての質疑応答があった後投票が行なわれ、投票総数48票、賛成47、反対0票、白票1票で博士号を授与することが決定された。続いて、もう1名に対する審査では、主査である教授より研究の概要が紹介され、主査の研究への関わりについての質疑応答があった後投票が行なわれ、投票総数48票、賛成48票、反対0票で博士号を授与することが決定された。

(2) 令和4年3月終了判定について（回収資料）

回収資料に基づき、共生システム理工学専攻（博士前期課程）修了対象者34名中29名、環境放射能学専攻（博士前期課程）修了対象者2名中2名の修了が提案され、承認された。また、共生システム理工学専攻（博士後期課程）修了対象者2名の修了が承認された。

2. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

資料1に基づき、授業料未納学生の納入期限および未納の場合の除籍の対応予定が提案され、承認された。

[報告事項]

1. 学生生活委員会

(1) 令和3年度3月期学生表彰について

資料2に基づき、令和3年度の学生表彰推薦一覧（団体及び3月卒業・修了者）が報告された。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和4年度新入生ガイダンスについて

資料3に基づき報告された。

(2) 第61回全学教務協議会について

(審議事項)

・全学教務協議会ほか関係規程の改正について

資料4に基づき、2022年度からキャリアセンターが設置され、基盤教育委員会の「グローバル教育部会」、「地域実践教育部会」、「キャリア教育部会」の3つの部会について、廃止や組織的位置づけの変更が行われることに伴う、関係規程の改正が報告された。

(報告事項)

・令和4年度非常勤講師計画（全体版）について

資料5に基づき、基盤教育科目及び各学類の非常勤講師計画が報告された。

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

(1) 副分野長の選出について(選出)

物理・メカトロニクス分野副分野長の教授の副学長就任及び物質・エネルギー科学分野副分野長教授の評議員就任に伴う、新副分野長選出の投票が行われ、物理・メカトロニクス分野の教授と、物質・エネルギー科学分野の教授が、それぞれ副分野長に選出された。

(2) 令和4年度各種委員会委員名簿(案)について

資料6に基づき、令和4年度各種委員会委員名簿(案)が示され、ご意見等あれば評議員までお寄せ戴き、継続審議とすることとした。

2. 教務委員会

(1) 令和4年度研究室配属について

資料7に基づき、これまで紙ベースで実施してきた研究室配属希望届を、学生の利便性向上の観点からWEBフォームに入力する方法に変更することが提案された。受付時期について質疑応答がされた後、承認された。

(2) 令和4年3月卒業判定について

回収資料に基づき、人間支援システム専攻卒業対象者68名中66名、産業システム工学専攻卒業対象者85名中60名、環境システムマネジメント専攻卒業対象者64名中59名の卒業が提案され、承認された。

(3) 非正規生(研究生・科目等履修生)の受入れについて

資料8に基づき、研究生1名と科目等履修生前期3名の受け入れが提案され、承認された。

3. 学生生活委員会

(1) 授業料未納による除籍について

(研究科委員会で学類分もまとめて提案)

(2) 学生の無期停学の解除について

無期停学となっていた学生について、その後の生活態度などが報告され、3月31日付で停学を解除することが提案され、承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 第61回全学教務協議会について

(審議事項)

・ICL国際共修ネットワーク参加6大学単位互換の実施手順について
資料9に基づき説明された。

2. 学生生活委員会

(1) 令和3年度3月期学生表彰について

(研究科委員会で学類分もまとめて報告(資料2))

3. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金1件と共同研究2件が報告された。

[その他]

1. 財務施設委員会

(1) 予算執行について

物品請求システムの入力期限が3月17日であるので、それまでに今年度の予算を執行いただきたいとのアナウンスがあった。

(2) プロジェクト室の利用申請について

令和4年度のプロジェクト室の利用申請についてアナウンスがあった。

教育研究評議会

第379回(3月8日開催)報告

【 審議事項 】

(1) 地域未来デザインセンターの設置について【資料 1】

福島大学地域未来デザインセンターについて、設置準備委員会における検討結果の報告があり、同センターの設置について提案があった。センター組織体制内の学類調整部門マネージャーの役割について質問があり、現時点で想定される役割としては外部との窓口となることや、内部的には共創的研究テーマの提起支援等が考えられる、との説明があった。

(2) 学内諸規則等の制定について【資料 2】(意見聴取)

資料 2 に基づき、学内諸規則等の制定について提案があった。質疑応答の中で、国立大学法人福島大学運営会議規則の一部改正により、運営会議の役割に協議が加わることや事務局委員の追加について質問があり、国立大学法人法に記載されている審議事項については、今後も教育研究評議会や経営協議会において決定することに変わりはなく、運営会議を教育研究評議会に諮る前の議論や意見聴取依頼を行う場として活用することで、より柔軟で効率的な会議運営を行いたいとの説明があった。学則の一部改正については各学類教員会議へ意見聴取し、第 380 回教育研究評議会(3 月 22 日開催予定) にて各学類から戻り報告をすることとした。

(3) 令和 5 年度の地方国立大学の定員増への対応について【資料 3】

令和 5 年度の地方国立大学の定員増への対応として、人文社会学群(人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類) において定員増を申請することについて提案があった。なお、本提案は調整中の事項であり、今後福島県及び文部科学省の合意が得られた場合に申請が可能となることについて説明があった。

質疑応答の中で、申請する学類の同意を得るため、手続きとして教員会議へ意見聴取を行う必要があるとの意見があり、申請する予定である人文社会学群(人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類) の教員会議へ意見聴取し、第 380 回教育研究評議会(3 月 22 日開催予定) にて戻り報告をすることとした。

(4) 大学院(修士課程、博士前期課程、専門職学位課程) の入学定員の変更について【資料 4】

第 378 回教育研究評議会(3 月 1 日開催) において提案され、各学類教員会議等に意見聴取していた結果について確認があった。

(5) 食農科学研究科(修士課程) の設置について【資料 5】

令和 5 年 4 月に食農科学研究科食農科学専攻(修士課程) を入学定員 20 人、収容定員 40 人で設置すること、及び設置計画書を文部科学省に提出することについて提案があった。

(6) 地域デザイン科学研究科(修士課程) の設置について【資料 5】

令和 5 年 4 月に地域デザイン科学研究科(修士課程) 入学定員 42 人(人間文化専攻 20 人、地域政策科学専攻 8 人、経済経営専攻 14 人)、収容定員 84 人で設置すること、及び設置関係書類を文部科学省に提出することについて提案があった。

(7) 教職実践研究科(教職大学院) の設置について【資料 5】

令和 5 年 4 月に教職実践研究科教職高度化専攻(教職大学院) を入学定員 12 人、収容 24 人で設置すること、及び設置関係書類を文部科学省に提出することについて提案があった。